

月	テーマ	題材	小題材	時間	おもな活動(☆)と指導(・)	目標	評価の観点	教材・教具
4月		さあ、家庭科を学びましょう (ガイダンス) (1時間)		1	☆これまでの自分の成長を見つめ、2年間の学習の見直しをもつ。 ・入学からの生活や学習をふり返り、これまで家族や周囲の人びとに支えられてきたことに気づくようにする。	○これまでの自分の成長を見つめ、見直しをもって学習に取り組もうとする。	○第4学年までの学習をふり返り、家庭科学習に関心を持ち、2学年間の見直しをもって取り組もうとしている。(関) ○これまで家族や周囲の人びとに支えられてきたことをふり返り、家庭生活と家族の大切さに気づいている。(関)	・成長過程の写真や図 ・生活に関する学習場面 ・デジタル教科書
			1	1	☆1日の生活をふり返り、家族とのかかわりや生活のしかたを見つめ、できるようになったことを話し合う。 ・家庭状況に配慮しながら、家族とのかかわり合いや支えられていることがわかるようにする。	○1日の生活を見つめ、家庭生活に関心を持ち、家庭生活と家族の大切さに気づく。	○自分や家族の生活に関心を持ち、家族に協力しようとしている。(関)	・1日の生活の様子を描いた図 ・生活ビデオ ・掛図
5月	生活を見つめ、チャレンジを増やそう	2 はじめてみよう クッキング (8時間)	①クッキング はじめの 一歩	2	☆家庭科室のガスコンロを使って、湯をわかす。 ・安全な使い方や換気に気をつけて操作させる。 ☆調理の手順や調理器具について調べる。 ・使った経験をチェックしながら、使用上の注意を知らせるようにする。	○調理に関心を持ち、簡単な調理をしようとしている。 ○材料や目的に応じてゆで卵・ゆで野菜の調理ができる。	○コンロや調理用具の安全な取り扱い方について理解している。(知) ○調理に関心を持ち、ゆでる調理をしようとしている。(関) ○材料に合った洗い方・切り方やゆで方を工夫している。(創)	・ガスコンロの使い方図やビデオ ・用具の実物や写真 ・洗い方、切り方、はかり方の図や写真
			②ゆでてみよう	3	☆たまごをゆでたり、青菜をゆでたりする。 ・ゆで方や時間、ゆでたときのちがいが理解できるようにする。	○用具や食品の安全な取り扱方やゆで方がわかる。	○自分なりに工夫して調理計画を立てている。(創)	・実習計画表
			③ゆで野菜のサラダをつくらう	3	☆ゆで野菜サラダの計画を立て、調理する。 ・材料の安全で衛生的な取り扱いに留意したり、環境を考えてあとかたづけができるようにする。		○材料に合ったゆで方ができる。(技) ○調理に必要な用具や食器の安全で衛生的な取り扱いができる。(技)	・あとかたづけ図 ・指導書資料編
6月		3 はじめてみよう ソーイング (9時間)	①針と糸にチャレンジ	5	☆針と糸を使って、玉結び、玉どめ、名前のぬい取りをする。 ・針やはさみなどの安全な扱い方に十分配慮する。 ☆ボタンのつけ方がわかり、つけることができる。 ・ボタンつけのチェック表に記入しながら、つけ方をふり返るようにする。	○手縫いに関心を持ち、簡単な縫い方やボタンつけができる。 ○製作に必要な用具について知り、安全に取り扱うことができる。	○手縫いに関心を持ち、小物などを製作しようとしている。(関) ○形や縫い方などを工夫し、製作している。(創) ○布の活用を見直し、製作する物やその製作計画について考えたり、自分なりに工夫したりしている。(創) ○簡単な手縫いやボタンをつけることができる。(技)	・裁縫用具・ボタン・紙・作品見本 ・ビデオ・教材提示装置 ・製作計画表 ・縫い方の見本や標本
			②楽しい小物づくり	4	☆いろいろな縫い方を調べ、小物の製作をする。 ・なみ縫い、返し縫い、かがり縫いの名称や手順を知らせ、製作に生かすようにする。		○小物を製作することができる。(技) ○用具の安全な使い方を理解している。(知) ○製作した物を生活で活用している。(創)	・針と糸やボタンなどの拡大模型 ・指導書資料編
7月		4 かたづけよう 身の回り (3時間)	①生活している場所 目を向けよう	1	☆生活している場所を見つめ、整理・整とんが必要な理由について話し合う。 ・話し合う中で、能率面や気持ちよさにも気づくようにする。	○身の回りの整理・整とんに関心を持ち、気持ちよく過ごそうとしている。	○身の回りの整理・整とんに関心を持ち、整理・整とんしようとしている。(関) ○整理・整とんのしかたについて考えたり、自分なりに工夫したりしている。(創)	・指導書資料編 ・整理・整とんにかかわる小物類(あき箱など) ・衣服
			②整理・整とんをくふうしよう	2	☆身の回りを整理・整とんする計画を立て、工夫しながら整理・整とんする。 ・工夫したことを認め合い、整理・整とんを続けるよう意欲づける。	○整理・整とんのしかたがわかり、工夫できる。	○身の回りの物を整理・整とんすることができる。(技) ○整理・整とんのしかたについて理解している。(知)	
		5 できるようになったかな 家庭の仕事 (2時間)	①わたしにできる家庭 の仕事を増やそう	1	☆家庭にはどんな仕事があるか調べ、発表する。 ・家庭には衣・食・住に関する仕事があり、自分や家族の生活を支えていることがわかるようにする。	○家庭生活に関心を持ち、家族の一員として、仕事を分担する。	○家庭には、衣食住に関する仕事があり、自分や家族の生活を支えていることを理解している。(知) ○自分の分担する家庭の仕事に取り組み、家族に協力しようとしている。(関)	・家庭の仕事の写真・図・ビデオ ・実践計画表
			②家族に協力して仕事をしよう	1	☆自分にできる仕事を考え、工夫しながら継続的に実行する。 ・仕事を分担したり、家族に協力できることを考えたりして、実行していくよう助言する。 ・仕事をするとき、環境に目を向け工夫していくようにする。		○自分が分担した仕事の計画について考えたり、実践を通して自分なりに工夫したりしている。(創)	
		◆チャレンジコーナー			☆休日や夏休みなどに家庭実践をする。	○学習したことを家庭生活に生かす。		・実践カード



月	テーマ	題材	小題材	時間	おもな活動(☆)と指導(・)	目標	評価の観点	教材・教具
1月		8 じょうずに使おう 物やお金 (4時間) 田	①物やお金の使い方を 見直そう	2	☆物やお金の使い方をふり返り、じょうずな買い方について話し合 う。田 ・お金や資源の大切さに気づき、計画を立て、適切な買い方や使い方が できるようにする。田	○物や金銭の使い方に関心をも ち、適切に買い物をしようとす る。	○物や金銭の使い方を見直し、物や金銭の大切さに気づ き、使い方に関心をもっている。(関) ○物の選び方や買い方に関心を持ち、適切に購入しようと している。(関) ○物や金銭の使い方を見直し、計画的な使い方を考えたり、自分なりに工夫したりしている。(創) ○物や金銭の有効な使い方について理解している。(知) ○物の品質や価格などの情報を活用し、目的に合った物 の選び方や買い方を考えたり工夫したりしている。(創) ○目的に合わせて情報を集め、計画的に物を使ったり購 入したりできる。(技) ○物の選び方や適切な買い方について理解している。(知)	・学用品 ・文具 ・衣服 ・レシート ・マークや品質表示の拡大 図 ・カード各種 (広告・カタログ ・パソ コン ・食品の賞味期限 と消費期限の表示例)
			②買い物のしかたを考 えよう	2	☆食品や衣服を買うときに気をつけることを調べ、じょうずな買い物を するためにまとめる。 ・適切な買い物のしかたをまとめ、生活に生かすようにする。田	○目的に合った物の選び方や買 い方ができる。		
2月	生活を見つめ、できることを増やしていこう	9 寒い季節を快 適に (6時間) 田	①あたたかい着方をくふ うしよう 田	2	☆寒い季節を快適にするための着方や住まい方の工夫について話 し合う。田 ・教科書や写真を参考に気づいたことを話し合っていくようにする。 ☆寒い季節に合った着方の特徴や衣服のはたらきについて考える。 ・暑い季節の着方を参考に、衣服の形や布の種類、重ね着のしかたに目 を向けていくようにする。 ・衣服のはたらきを知らせ、着方を考えていくようにする。	○寒い季節の衣服の着方や住ま い方に関心を持ち、快適に生活 しようとする。 ○衣服のはたらきがわかり、着方 を工夫することができる。	○寒い季節に着る衣服を見直したり、寒い季節の住まい方 に関心を持ち、快適に過ごそうとしている。(関) ○寒い季節をあたたかく過ごすための着方を考えたり、工 夫したりしている。(創) ○衣服のはたらきやあたたかい着方について理解してい る。(知)	・年間の気温・温度の変化 表 ・衣服各種 ・照度計 ・照明器具、暖房器具の図
			②あたたかく明るい住ま い方をくふうしよう 田	4	☆日光の役割を考えたり、あたたかく過ごす方法を調べたりする。 ・暖房器具の安全な使い方と換気のしかたなど実践できることを考えて いくようにする。田	○あたたかく、明るい住まい方が 工夫できる。	○あたたかく明るい住まい方について考えたり、工夫したり している。(創) ○あたたかく明るい住まい方について理解している。(知)	
3月		10 家族と ほっとタ イム 田 (3時間)	①楽しい団らん 田	1	☆家族とのふれあいや団らんをした経験について話し合う。田 ・ふれあいや団らんの大切さを理解させ、その方法はさまざまあること に気づかせ、家庭により工夫していくようにする。	○家族とのふれあいや団らんに 関心を持ち、楽しくする工夫を することができる。	○家族とのふれあいや団らんに関心を持ち、実践しようとす る。(関) ○家族とのふれあいや団らんのもち方を考えたり工夫したり している。(創) ○家族とのふれあいや団らんの大切さについて理解してい る。(知)	・ふれあいの様子がわかる 写真 ・茶などの飲み物 ・食器 ・計画書 ・メモ
			②つながりを深めよう	2	☆団らんをもつ計画を立てる。 ・かんたんな食べ物を用意するなどして、計画を立てるようにする。			
		家庭科の学習をふり 返り、生かそう/環 境を考えた「エコライ フ」をくふうしよう 田 (1時間) 環		1	☆1年間の学習をふり返り、学習したことやできるようになったことを 確認し合う。 ・家族の一員として自分が成長したことを認め合い、さらによりよい生 活をめざすようにする。田	○5年の学習をふり返り、自分で できるようになったことを確認 し、さらによりよい家庭生活をめ ざす。 ○自分の生活が環境とかかわっ ていることを理解する。	○これまでの学習に関心を持ち、生活に生かそうとしてい る。(関) ○1年間の学習をもとに、さらに生活のしかたを考えたり、 工夫したりしている。(創) ○環境を考えた生活の大切さについて理解している。(知)	・今までの学習ノート(カ ード) や実践カード
		◆チャレンジコーナー			☆休日や春休みなどに家庭実践をする。	○学習したことを家庭生活に生か す。		・実践カード

月	テーマ	題材	小題材	時間	おもな活動(☆)と指導(・)	目標	評価の観点	教材・教具
4月	健康食	1 くふうしよう 朝の生活 (10時間)	①生活時間を見直そう	1	☆1日の生活時間を調べ、見直す。田 ・何のために、どのように時間を使っているか見直していくようにする。	○生活時間を見直し、朝の生活のしかたや、家族とのふれあいの時間を工夫することができるようにする。	○自分や家族の生活時間を調べたり、見直そうとしたりしている。(関)	・朝の生活場面の図や写真・ビデオなど ・生活時間表 ・夜の生活時間の図や写真 ・食品実物見本 ・食品の表示やマークの拡大図 ・フライパンの扱い図 ・料理例(図・カード・写真) ・調理器具・用具・食器 ・指導書資料編
			②共に過ごす時間をつくろう	2	☆家族と共に過ごす時間や朝の生活時間を工夫する。 ・家庭環境に十分配慮しながらその子なりの工夫を認めていくようにする。	○朝食に合う簡単なおかずを考え計画を立てることができる。 ○いためる調理がわかり、簡単なおかずを作ることができる。	○家族に協力し、家庭生活をよりよくしようとしている。(関) ○自分の生活時間の使い方を見直し、有効に使う方法を考えたり、自分なりに工夫したりしている。(創)	
			③朝食を考えよう	7	☆栄養のバランスがとれた朝食のおかずを考える。田 ・ごはんのみそ汁、またはパンと飲み物に合ったおかずを考え、栄養のバランスがとれているか確認していくようにする。 ☆朝食のおかずづくりの計画を立て、必要な材料を準備する。 ・材料の買い方、選び方、保存のしかたを調べ、実習に生かすようにする。 ☆(フライパンを安全に使って)朝食のおかずを調理する。 ・油でいためる調理のよさや注意点がわかり、フライパンのあとしまつができるようにする。	○朝食に合う簡単なおかずを考え計画を立てることができる。 ○いためる調理がわかり、簡単なおかずを作ることができる。	○朝食に関心を持ち、簡単なおかずを調理しようとしている。(関) ○朝食に合う簡単なおかずを工夫している。(創) ○いためる調理法で、朝食に合うおかずを作ることができる。(技) ○いためる調理法について理解している。(知)	
5月	環境	2 きれいにしよう クリーン大作戦 (5時間)	①身の回りのよごれを調べてみよう	1	☆どんなところにどんなよごれがあるか調べる。環 ・生活のしかたや場所により、よごれの種類やよごれ方がちがうことに気づくようにする。	○住まい方に関心を持ち、工夫してそうじができる。	○清掃に関心を持ち、身の回りを快適に整えようとしている。(関)	・観察カード ・虫メガネ・デジカメ ・セロハンテープ ・計画カード ・そうじのしかた・工夫の掲示資料 ・そうじ用具 ・洗剤 ・(社会科ごみ関連資料) ・リサイクル・リユースした物につけられるマークなど
			②そうじをしてきれいにしよう	2	☆身近な場所のよごれに合ったそうじのしかたを考え、発表する。 ・そうじの方法や手順について調べたり、工夫について話し合ったりするようにする。	○ごみのしまつや不用品の活用のしかたを工夫し、環境を考えた生活のしかたがわかる。	○よごれや場所に合うそうじのしかたについて考えたり、自分なりに工夫したりしている。(創) ○よごれや場所に合うそうじをすることができる。(技) ○よごれや場所に合うそうじのしかたについて理解している。(知) ○ごみのしまつや不用品の活用のしかたを工夫し、環境を考えた生活のしかたを工夫している。(創) ○ごみのしまつや不用品を活用することができる。(技) ○ごみのしまつや不用品の活用のしかたがわかる。(知)	
			③トライ! エコ生活	2	☆ごみを減らし、資源を大切にすくらし方を考える。環 ・地域のごみの分別方法やリサイクル・リユースについて調べたりして、自分の生活に合った方法で取り組んでいくようにする。	○ごみのしまつや不用品の活用のしかたを工夫し、環境を考えた生活のしかたがわかる。	○ごみのしまつや不用品の活用をしようとしている。(関) ○暑い季節をすずしく快適に過ごすための着方を自分なりに考えたり、工夫したりしている。(創) ○日常着の手入れに関心を持ち、衣服を大切に扱い、気持ちよく着るために手入れをしようとしている。(関) ○清潔で気持ちよい衣服の着方について理解している。(知) ○日常着を点検し、課題を見つけ、気持ちよく着るための手入れについて考えたり、自分なりに工夫したりする。(創) ○衣服を気持ちよく着るために手入れが必要であることがわかる。(知) ○手洗いを中心とした洗たくができる。(技) ○手洗いを中心とした洗たくのしかたについて理解している。(知)	
6月	環境	3 暑い季節を快適に (8時間)	①すずしい住まい方をくふうしよう	3	☆暑い季節を快適に過ごすための住まいや着方について話し合う。 ・教科書や写真を提示しながら、住まいや着方に関心をもつようにする。 ☆すずしい住まい方を調べ、自分の家でできることを話し合う。 ・すずしくする住まい方の工夫や冷房器具の上手な利用のしかたの例などを調べ、生活に生かしていくようにする。	○すずしい住まい方や衣服の着方に関心を持ち、快適に過ごすための工夫ができる。	○すずしい住まい方や着方に関心を持ち、快適な過ごし方について考えようとしている。(関) ○すずしい住まい方について理解している。(知)	・すずしく過ごすための工夫の具体物や写真・図(風鈴、すだれ、着方の例等) ・地域の気候・風土に合わせた住まい方の工夫の図や写真 ・(通風・家模型) ・洗たく用具(はかり・計量カップ・たらい・はけ・洗剤・ハンガー・物干し・ロープなど) ・洗たく機
			②すずしい着方をくふうしよう	1	☆暑い季節を気持ちよく、健康に過ごすための衣服の着方を考える。 ・寒い季節の着方と比較したり、衣服の中の風通しをよくする方法について話し合ったりする。田 ☆衣服のよごれの種類と清潔な整え方を調べる。 ・手入れの必要性や手入れの手順についてわかるようにする。	○日常着の手入れに関心を持ち、気持ちよく着るための手入れができる。	○暑い季節をすずしく清潔に過ごす着方をしようとしている。(関) ○暑い季節をすずしく快適に過ごすための着方を自分なりに考えたり、工夫したりしている。(創) ○日常着の手入れに関心を持ち、衣服を大切に扱い、気持ちよく着るために手入れをしようとしている。(関) ○清潔で気持ちよい衣服の着方について理解している。(知) ○日常着を点検し、課題を見つけ、気持ちよく着るための手入れについて考えたり、自分なりに工夫したりする。(創) ○衣服を気持ちよく着るために手入れが必要であることがわかる。(知) ○手洗いを中心とした洗たくができる。(技) ○手洗いを中心とした洗たくのしかたについて理解している。(知)	
			③洗たくをしてみよう	4	☆洗たくのしかたを調べて、洗たくをする。田 ・よごれ方や場所にに応じて、取り扱い絵表示を見て、洗たくをしていくようにする。	○洗たくの必要性がわかり、洗たくを工夫して行うことができる。	○衣服を気持ちよく着るために手入れが必要であることがわかる。(知) ○手洗いを中心とした洗たくができる。(技) ○手洗いを中心とした洗たくのしかたについて理解している。(知)	
7月	くふうして生活に生かそう	◆チャレンジコーナー		☆休日や夏休みなどに家庭実践をする。	○学習したことを家庭生活に生か		・実践カード	

月	テーマ	題材	小題材	時間	おもな活動(☆)と指導(・)	目標	評価の観点	教材・教具
9月 10月	くふうして生活に生かそう	4 生活を楽しくしようソーイング (10時間) 田	①つくりたいものを考え、計画しよう	2	☆布を使って生活が楽しくなる物を考え、計画を立てる。田 ・身近にある布で作られた物を調べ、生活に役立つ物を考えるようにする。 ・試しに紙などで作ってみて、形や大きさなどを決めるとよい。	○布を用いた生活に役立つ物の製作に関心をもち、工夫して製作ができる。 ○製作の喜びや活用する楽しさがわかる。	○布や生活に役立つ物の製作に関心をもち、見直しをもって製作しようとしている。(関) ○家庭生活での布の活用について見直し、製作する物やその製作計画について考えたり、自分なりに工夫したりしている。(創) ○意欲的に製作し、活用する喜びを味わっている。(関) ○目的に応じた縫い方や手順などを考えたり工夫したりしている。(創) ○目的に応じて手縫いやミシンを用いた直線縫いで製作ができる。(技) ○製作に必要な用具の安全な取り扱いができる。(技) ○製作に必要な用具の安全な取り扱い方について理解している。(知) ○製作した物を自分の生活で活用し、改善点を考えたり、自分なりに工夫したりしている。(創)	・作品見本 ・段階標本 ・布見本・材料見本 ・製作計画表 ・裁縫用具 ・ミシン ・活用例の写真
			②くふうしてつくろう	7	☆製作計画を確認し、工夫して製作する。 ・作品見本や段階標本を参考に、工夫して製作することができるようにする。 ・時間ごとに各自のめあてと進行状況を把握して、適切に支援していくようにする。			
			③楽しく使おう	1	☆製作をふり返り、工夫したことや使ってみての感想などを話し合う。 ・実際に使ってみて、よかった点や役立ったことについてもまとめるようにする。			
11月 12月	くふうして生活に生かそう	5 くふうしよう 楽しい食事 健食 (12時間) 田	①バランスのよい献立を考えよう	5	☆(ごはんのみそ汁を中心にした)1食分の献立を考える。田 園 ・献立の考え方を参考に、栄養のバランスや色どり、味つけを考えて立てるようにする。 ☆立てた献立の栄養のバランスを確かめる。 ・3つの食品のグループに分けて、献立を見直し、食品を加えたり、別のおかずを助言したりする。	○栄養のバランスを考え、1食分の献立を立てることができる。 ○身近な食品を用いて調理計画を立て、簡単なおかずを作ることができる。園	○毎日の食事に関心をもち、1食分の献立を立てようとしている。(関) ○身近な食品を使って調理しようとしている。(関) ○食事の役割を考え、整えようとしている。(関) ○栄養のバランスを考え、食品を組み合わせ1食分の献立を工夫している。(創) ○栄養のバランスを考えた1食分の献立の立て方について理解している。(知) ○調理に必要な材料や手順を考え、調理計画を自分なりに工夫している。(創) ○計画にそって工夫して調理している。(創) ○材料や目的にあった調理のしかたがわかる。(知) ○家族との楽しい食事を工夫しようとしている。(創) ○食事の役割や大切さについて理解している。(知) ○楽しく食事をするためのマナーについて理解している。(知)	・食品カード ・給食の献立表 ・食事の計画表 ・食品の分類表 ・料理カード ・デジタル教科書 ・調理実習計画表 ・調理のレシピ ・食品と分量のカード ・食事風景の写真
			②身近な食品でおかずをつくろう	6	☆身近な食品を組み合わせ、計画を立て、おかずをつくる。田 ・(じゃがいもを例に)同じ食品でも調理のしかたによっていろいろな料理ができることに気づくようにする。 ・調理の時間配分や手順を工夫し、計画を立て、調理に取り組むようにする。	○日常の食事の大切さに気づき楽しく食事をしようとする。		
			③家族と楽しく食事をしよう	1	☆家族と楽しく食事ができるよう考える。田 ・食事のはたらきやマナーなどを知らせ、家庭で生かすようにする。			
		◆チャレンジコーナー			☆休日や冬休みなどに家庭実践をする。田	○学習したことを家庭生活に生かす。		・実践カード

月	テーマ	題材	小題材	時間	おもな活動(☆)と指導(・)	目標	評価の観点	教材・教具
1月 2月 3月	くふうして生活に生かそう	6 考えよう これからの生活 環 (9時間) キ キ 囚	①わたしたちの生活と環境 キ	4	☆(教科書の図を見ながら)身近な生活の環境について、気がついたことを話し合う。 ・気づいたことを発表しながら、自分の生活のしかたと環境とのかかわりを見つめ直していくようにする。	○自分や身近な人びとの生活や環境とのかかわりに気づき、快適な生活のしかたを工夫することができる。	○自分の生活のしかたと身近な環境とのかかわりに関心をもっている。(関) ○身近な環境をよりよくしようとしている。(関)	・計画カード ・フラッシュカード ・地域の環境図 ・指導書資料編
			②感謝の気持ちを伝えよう	4	☆身近な人びとへ感謝の気持ちを伝える方法を考え、実践する。 ・これまでの学習を生かして、その子なりに考えた方法で実践していくようにする。 囚 囚	○近隣の人びととのかかわりについて考え、気持ちの伝え方が工夫できる。	○近隣の人びととのかかわり方について関心をもっている。(関) ○近隣の人びととのかかわり方を工夫している。(創) ○近隣の人びととのふれあい方や気持ちの伝え方について理解している。(知) ○身近な環境をよりよくするための方法を工夫している。(創)	
			③人びとや環境とのかかわり	1	☆人びとや環境とのかかわりで、自分にできることを考え、よりよい生活をしようと、実践する。 ・家族や地域の一員として人や環境に配慮した生活をめざせるよう支援する。環	○地域で快適に生活するための工夫について考え、実践しようとする態度を養う。	○自分の生活と環境とのかかわりについて理解している。(知) ○自分の生活のしかたを見つめ、よりよい生活のしかたを工夫している。(創) ○環境を考えた生活のしかたについて理解している。(知)	
		成長したわたしたち(1時間) キ	1	☆2年間の学習をふり返り、生活の中でできるようになったこと、工夫していること、また、これらを生かして今後どうしていきたいかなどを発表する。 ・成長を実感し、さらによりよい生活をめざしていくよう助言する。 田	○2年間の学習をふり返り、自分の成長を自覚し、よりよい生活のしかたを継続しようとすることができるようにする。	○2年間の家庭科で学んだことの活用のしかたがわかる。(知) ○2年間の家庭科学習をこれからの生活に生かそうとしている。(関)	・ふり返りカード ・指導書資料編	